

令和2年度事業計画書

循環型社会の実現に寄与するために、産学官民による共同研究体制でリサイクル技術や社会システムの開発を行い、その実践を支援する先導的な拠点である「福岡県リサイクル総合研究事業化センター」の取組として、研究開発事業や環境情報事業等を実施する。

1 研究開発事業

県内の共同研究チームが実施するリサイクル技術や社会システムの研究開発及びその成果の実践を支援する。

なお、令和2年度以降に採択する共同研究プロジェクトに対して収益納付の制度を導入する。

(1) 研究会の運営

産学官民の関係者による研究会を編成し、多角的な視点から実用化の可能性を検討する。

(継続テーマ)

- ・廃電池仕分け作業の自動化研究会 (令和元年度～2年度)
- ・園芸用軽石を活用した新規微生物農業資材の開発研究会 (令和元年度～2年度)
- ・鉛電池リデュース・リユース研究会 (令和元年度～2年度)
- ・使用済自動車由来廃プラスチックへの高市場性機能付加技術研究会 (令和元年度～2年度)
- ・過熱水蒸気処理竹粉残渣の固形燃料化研究会 (令和元年度～2年度)

※公募又は研究企画にて追加し、計10テーマ程度取り組む予定。

(2) 共同研究プロジェクトの実施

事業化に向けた実証試験等の共同研究プロジェクトを実施する。

(新規テーマ)

- ・廃棄キノコ抽出物による植物由来ヒト型セラミド製造プロジェクト (令和2年度～3年度)
- ・濃縮バイオ液肥製造に関する事業化プロジェクト (令和2年度～3年度)

※研究会からのステップアップ等により、計4テーマ程度取り組む予定。

2 環境情報等事業

環境リサイクル技術や社会システムに関する情報を発信するとともに、3Rに係る各種事業を推進すること等により、循環型社会の構築に向けた各関係主体の取り組みを支援する。

(1) ホームページの運営

リサイクル総合研究事業化センターにおける共同研究の成果や県内企業が保有する環境リサイクル技術等を、ホームページを通して国内外に情報発信する。

3 環境人材育成・ネットワーク事業

(1) 研究成果発表会

令和元年度で終了した共同研究プロジェクト及び研究会について、研究成果発表会を開催する。

(発表テーマ)

- ・絶縁油再生処理技術事業化共同研究プロジェクト (平成29年度～令和元年度)
- ・フードバンクを活用した食品ロス削減推進共同研究プロジェクト (平成29年度～令和元年度)
- ・金属産廃を放熱性素材として有効活用した循環型社会を実現するプロジェクト (平成30年度～令和元年度)
- ・朝倉市におけるメタン化食品リサイクルループプロジェクト (平成30年度～令和元年度)
- ・パワーデバイス用硬脆ウエハリサイクル研究会 (平成30年度～令和元年度)
- ・アルミラミネート箔における Al to Al リサイクル研究会 (令和元年度)
- ・廃棄キノコおよび廃棄農産物を利用した高機能性素材の生産技術研究会 (令和元年度)

(2) 展示会

エコテクノ2020(北九州市)など、県内外で行われる環境リサイクル技術等の展示会に出展し、リサイクル総合研究事業化センターの事業成果の情報発信を行う。

4 プロジェクト事業

(1) 食品ロス削減推進事業

製造・流通・小売・消費の各段階で発生する食品ロス(食べられるのに食用にせず廃棄する食品)の削減を推進するため、次のとおりフードバンク活動の普及・促進事業を実施する。

- 福岡県フードバンク協議会運営支援
コーディネーター出向により、これまでのノウハウや開拓企業を継承
- フードバンク活動の周知業務
フードバンク活動の認知度向上や企業等からの協力獲得のための業務を実施

(2) リサイクル拠点化促進事業

リサイクル総合研究事業化センターの共同研究の実績やノウハウを多くの企業・自治体等に活用してもらうため、視覚的なメディアを活用した情報発信を行うなど、研究成果の全国的普及に努め、リサイクルの拠点化を図る。

(3) 県産リサイクル製品認定事業

生活関連用品を対象として平成27年度に創設された県産リサイクル製品認定制度の認定製品の利用促進を図るために、新たな認定品目の素案及び認定基準案を作成し、認定申請にかかる現地調査等を行う。

(4) IoTを活用した業務用電気製品の効率的3Rシステム構築事業

IoT技術を活用してリデュース・リユース・リサイクルを効率的に行うシステムを構築するため、県内のIoT企業や電子・電気機器メーカー、商業施設等所有企業及びリサイクル企業等とともに意見交換や実証試験等を行う。

- 福岡県IoT技術活用3Rシステム推進協議会の運営
- IoT技術活用3Rシステムの実証試験の実施

(5) 廃棄太陽光パネルスマート回収システム構築事業

使用済み太陽光パネルをコスト効率的に回収・リサイクルできる仕組みと体制を福岡県に構築し、太陽光パネルを廃棄から再資源化等に誘導することにより、不法投棄の抑制及び適正処理の推進を図る。

- 「福岡県太陽光発電(PV)保守・リサイクル推進協議会」の運営

○スマート回収支援ソフト開発のためのスマート回収実証試験の実施

(6) 3Rネットワーク構築事業

当センターを中心とした従来のネットワークを拡大・強化し、異業種間交流の促進による共同研究や新ビジネスの創出を目指す。

○福岡県リサイクル総合研究事業化センター3Rメンバーズの運営

3R関連事業や研究に関連する産学官民のネットワーク組織「福岡県リサイクル総合研究事業化センター3Rメンバーズ」を運営する。

○会員の交流促進

会員企業の自主的なマッチングを促進するため、ニーズ・シーズ発表会や交流会等を開催する。

○その他

会員企業情報の提供、3Rに関する法改正、補助制度等の情報についてお知らせするメールマガジンの発行、事業化実施企業が各種展示会に出展する場合の支援を行う。

(7) プラスチック資源循環促進事業

プラスチックの排出者、処理業者、再生・利用事業者等と連携することでプラスチックを効率的に回収・リサイクルできる仕組みと体制を構築する。

○実現可能性調査関係者会議の運営

関係者会議を組織し、プラスチックを効率的に回収・リサイクルできる仕組みと体制を構築するため、実現可能性調査の内容を検討する。

○実現可能性調査の実施

プラスチックを効率的に回収・リサイクルできる仕組みと体制を構築するため、実現可能性調査を実施する。

○実証試験の企画立案

プラスチック再生利用の仕組みと体制を構築するため、実証試験を企画立案する。

5 その他

環境問題が深刻化しているアジア諸国から参加した環境施策担当行政官等を対象に、環境保全や循環型社会形成に貢献する人材の育成のため、産学官民連携の取組及びその成果を紹介するなど当センターの取組を積極的に海外に発信する。